

## 兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2023年

氏名	近江 美保	担当科目	国際公法Ⅲ
<b>学 位</b>			
1987年3月	行政学修士		
1992年7月	Master of Arts in Public Affairs		
2010年9月	博士（法学）		
<b>主 な 学 歴</b>			
年 月	事 項		
1985年3月	国際基督教大学教養学部社会科学科卒業		
1987年3月	国際基督教大学大学院行政学研究科博士前期課程修了		
1992年7月	米国ミネソタ大学ハンフリー公共政策大学院修士課程修了		
2010年9月	神奈川大学大学院法学研究科博士後期課程修了		
<b>主 な 職 歴・経 歴</b>			
年 月	事 項		
2014年4月	長崎大学多文化社会学部准教授		
2018年4月	長崎大学多文化社会学部教授		
2019年4月～	神奈川大学法学部教授		
<b>最近5年間の主な業績等</b>			
年 月	事 項		
2018年6月	【著書】 国際女性の地位協会編『男女平等はどこまで進んだか？—女性差別撤廃条約から考える』（岩波書店）109頁～119頁「6章 デートDVってどんなこと？」		
2019年10月	島田陽一・三成美保・米津孝司・菅野淑子編著『「尊厳ある社会」に向けた法の貢献—社会法とジェンダー法の協働』（旬報社）435頁～450頁「『女性の権利』と女性差別撤廃条約—平等の保障と女性に対する暴力—」		
2019年12月	【論文】 「女性差別撤廃条約の解釈と実施に見る国際的展開」（国際女性）33号46頁～51頁		
2020年10月	「第2次選択的夫婦別姓訴訟——国際人権法の視点から」（新・判例解説Watch）vol.28 331～334頁		
2021年8月	「COVID-19とジェンダー—『危機』と『構造』」（平和研究）56巻27頁～56頁		
2022年3月	「女性に対する暴力に関する国際的文書および機関の相互作用と連携」（部落解放研究）216号127-141頁		
2022年11月	「最高裁大法院夫婦同氏制合憲決定—夫婦同氏制と国際人権法」（判例時報）No.2529 144-148頁		
	ほか		
（参考：外部リンク）プロフィールURL			